



山本活躍! 同点弾

駒澤大学 2-2 東洋大学

山本のシュートにゴール前を構えるイレブン (射手真矢)

11 月 18 日 13 : 50 古河市立古河サッカー場

駒大 (0-1) 東洋大
 (3位) **2** (2-1) **2** (1位)

得点者 (アスト)

[東]30 分 オウンゴール [駒]90 分 山本大貴(三澤)
 [駒]46 分 山本大貴(奥村)
 [東]71 分 野崎桂太(馬渡)

KOMAZAWA

TOUYOU

GK①大石健太(3)
 DF⑩大木 暁(2)
 DF④三澤祥馬(4)
 DF⑬平尾優頼(2)
 (79 分)⑤宮城雅史(4)
 DF③田中雄一(3)
 MF⑥若山瞭太(3)
 MF⑧碓井鉄平(3)
 MF⑦奥村情(4)
 MF⑪湯澤洋介(4)
 MF⑨山本大貴(3)
 FW⑫小牟田洋介 (2)
 (63 分)⑪小牧成互(2)

GK①松下理貴(4)
 DF⑯馬渡和彰(3)
 (87 分)⑬久保田大智 (4)
 DF⑫郡司昌弥(1)
 DF④市川恵多(3)
 DF⑤松本怜大(4)
 MF⑪黒須大輔(3)
 MF⑥石川俊輝(3)
 MF⑧桑田直徹(2)
 MF⑩川崎諒(4)
 (20 分)⑮年森勝哉分(3)
 FW⑨三田尚史(3)
 (90 分)⑭澤井浩亮(4)
 FW⑱野崎桂太(4)

S U B

S U B

GK⑫ 積田景介(1)
 DF②友廣壮希(3)
 DF⑯荒井裕介(4)
 MF⑫ 中村 駿(1)
 MF⑬ 久永 翼(1)

GK⑫ 浅山優瑠(2)
 DF③端 晃司(4)
 MF⑦川岸春大(4)
 FW⑫ 佐々木雅人(2)

MANAGER

MANAGER

秋田浩一

古川 毅

[シュート] 8 : 7 [GK] 12 : 9 [CK] 7 : 1 [直接FK] 14 : 20
 [間接FK] 2 : 6 [主審] 沖国英次郎 [観衆] 約 179 人

警告(C) / 退場(S)

[駒]50 分 山本(C1)
 [東]68 分 三田(C2)

※データの左側が駒大

昇格争いに終止符。

気持ちのプレーが試される。

桐蔭横浜大の勝ち越しにより昇格が断たれた駒大。対するは、2部最速優勝を果たした東洋大。昇格が決まっている東洋に対し来季に繋げるプレーは出来るのか注目する中、最初に攻撃の形を組み立てたのは東洋。5分左サイドを崩され早くもシュートを狙われるが大石がセーブ。ペースにのまれる訳にはいかない駒大は守備を固めつつ攻めに行く姿勢を見せる。前半 10 分田中の CK からチャンスを作りゴール前で混線するも得点には繋がらず、更に 17 分小牟田のドリブルからパスを繋ぎゴール前のボールを湯澤が競り奪い反転シュート。しかし、相手 DF にブロックされチャンスを逃す。駒大に傾きつつある流れだが、一筋縄ではいかないのが東洋。21 分東洋がゴール正面からの FK を獲得、馬渡和彰が直接ゴールを狙うが右に外しピンチを免れる。しかし、勢いに乗ったまま迎えた 30 分、東洋の桑田直徹が DF 陣を抜き去りドリブル突破、GK を交わしシュートを放たれるもポスト、しかしこぼれ球で混戦しミスを誘うように駒大選手に当たりそのままオウンゴールとなり、先手を打たしてしまいそのまま前半が終了。

前半ピッチを後にする姿は落胆の色が伺えた。スタッフ側からの喝を浴び再びピッチへ。後半のホイッスルが鳴り 1 分、山本が魅せる、縦パスから抜き出てワントラップしゴールを的確にとらえシュート。豪快にゴールへ入り 1 対 1 の同点へ追いつく。64 分には、小牟田から小牧へと交代し、早いドリブルから流れを引き寄せていくが、同点に追いつかれても余裕さえ感じさせる東洋は 74 分、CK からのボールを野崎桂太が流し込み再びリードされる展開に。だが、前半のシュート数は 1 だった駒大は後半 7 に伸ばし前半よりも確実に押している。そして、84 分 CK のチャンスが到来するも、東洋大のような勝負強さを発揮することができず。しかし試合終了間際に再び山本が魅せる。90 分、田中のパスから三澤が頭ですらし、山本が右足でシュートを決め同点に追いつき試合は終了。後半、息をふき返すようにチャンスを作った駒大。前半から我慢する時間帯も多かったが、それでも山本の活躍により、1 位相手にドロー試合と悪くない結果。残りの 1 試合で 4 年生は引退。後輩は 4 年生の為に 4 年生は後輩の為に繋げるサッカーを期待していきたい。(藤原菜摘)